

# XI 事務組織

## 【到達目標】

- ・法人経営と教学に精通した高度な専門性を有する事務組織の構築を目指す。

## 1 事務組織と教学組織との関係

### ◎主要点検・評価項目

- ・事務組織と教学組織との間の連携協力関係の確立状況
- ・大学運営における、事務組織と教学組織の相対的独自性と有機的一体性を確保させる方途の適切性

### 【現状】

本学における事務組織体制については、大学組織の改正等や大学が抱えている課題に対応して毎年必要な見直しが行われてきた。

事務組織は、広範な情報収集と精緻な分析に基づく適切な判断材料を教学組織に提供し、教育及び研究等の大学機能を発揮させることが求められている。

現在の法人の事務組織は、事務局長以下を大きく分けて、法人全体の管理運営を所管する部門が4課、学部運営を所管する部門が1課・1室、附属病院本院の運営を所管する部門が1課・分院の運営を所管する部門が1室で構成され、これらの組織に属する事務職員の現員数は、平成19年4月1日現在で93名となっている。

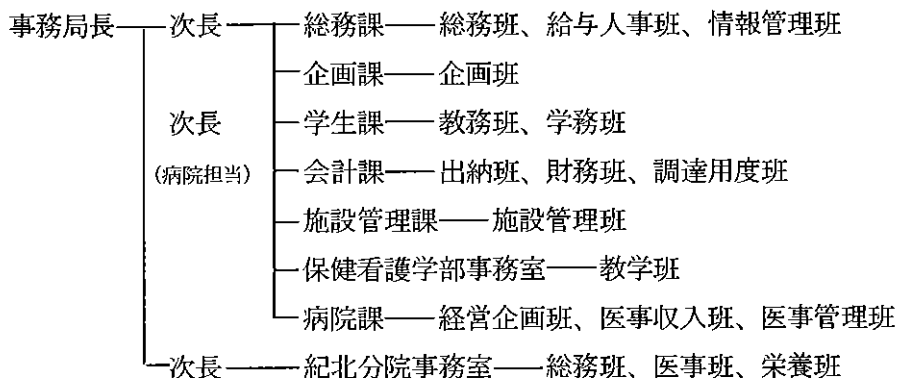
事務組織のうち、医学部において、主に教学組織と連携して事務を処理している課は、総務課・企画課・学生課である。

総務課は、規則等の制定、教授会に関すること、予算編成、人事・給与及び情報管理等の事務を行い、企画課は、事務組織の改編、中期計画・年度計画の策定や科学研究費補助金その他外部資金等に関する事務などを行っている。

また、学生課は、教育課程及び授業時間割の編成や各種試験の事務を行うほか、学生募集や奨学資金等に関する事務などを行っている。

なお、保健看護学部においては、同学部事務室がすべて教学組織と連携して事務を処理している。

表X I - 1 事務組織図



### 【点検・評価】

本学の事務系職員は、県における様々な部署から事務局に転入し、比較的短い期間で県の他部署に転出するという人事ローテーションが一般的であり、専門的知識を有する職員が育ちにくいシステムとなっている。

このため、本学における勤務年数が短いことが普通である事務職員と、大学組織への帰属意識が強い教員や医療職等との間にギャップが生じている面もある。

大学改革や医学教育改革、附属病院の経営健全化等、事務的サポートとともに取り組まなければならない課題が増えており、事務局の役割が大きくなっている。

### 【改善・改革に向けた方策】

平成18年度からの法人化に伴い、毎年数名程度、大学法人の事務職員を採用しはじめ、今後、高度かつ専門性を有する事務職員等を育成していくこととしている。

また、効率的な事務運営を図るため、業務のアウトソーシングを進めていく。

表X I - 2 事務職員の在籍状況

区 分	対象人数	平均在籍年数	最長在籍年数
事務局長	1	2.3	2.3
次長級	3	1.6	4.3
課長級	10	0.9	2.3
課長補佐級	35	1.4	4.3
係長級	22	1.1	3.3
一般職	22	2.2	13.5
合 計	93	—	—

## 2 事務組織の役割

### ◎主要点検・評価項目

- ・ 教学に関わる企画・立案・補佐機能を担う事務組織体制の適切性
- ・ 学内の予算（案）編成・折衝過程における事務組織の役割とその適切性
- ・ 学内の意思決定・伝達システムの中での事務組織の役割とその活動の適切性
- ・ 国際交流、入試、就職等の専門業務への事務組織の関与の状況
- ・ 大学運営を経営面から支えうるような事務局機能の確立状況

### 【現状】

本学の医学部においては、教学に関わる事務は、主に学生課で行っており、総務課及び企画課でも一部行っている。

教学に関わる企画・立案・補佐機能のうち、学生課は、教育課程及び授業時間割の編成や各種試験の事務を行うほか、総務課は、教員人事に関する事務などを、企画課は、主に研究に関する事務などを行っている。

また、保健看護学部においては、医学部と同様の業務を同学部事務室教学班で行っている。

予算編成等に関しては、平成18年度からの法人化に伴い、理事会が11月に決定する予算編成基本方針に基づき、12月にそれぞれの所管事務担当課を通じて、事務局総務課に要求書が提出され、管理的経費等とともに学内調整の上、総務担当理事が予算配分案を作成している。

その後、教育研究審議会及び経営審議会の審議を経て、理事会で決定し、3月に事務担当課に内示している。

国際交流事業として、山東大学（中国）、上海交通大学医学院（中国）、マヒドン大学（タイ）、コンケン大学医学部（タイ）、香港中文大学医学部（中国）と学術交流及び学生交流に関する協定を結んでおり、学生や教職員の交流などを行っている。

これらの交流業務を総合調整するため、国際交流センターが組織されている。このセンターを運営するため、同センター運営協議会及び実務委員会が設置されており、主に総務課、学生課及び保健看護部事務室がその事務を担当している。

入試業務については、各学部の入学試験委員会等において、各学部の入試方法、募集人員、試験日程、2次試験科目、大学入試センター試験を利用する教科・科目等を決定している。

教学組織は試験問題の作成のほか試験監督を行い、事務組織は受験志願者の受付、審査、受験票の発送及び受験者名簿の作成など、入試準備業務等を行っている。

また、大学入試センター試験についても、試験監督は基本的に教学組織が行うが、事務組織は試験の準備業務を行っている。

大学運営を経営面から支えうるような事務局機能としては、会計課が担っている。

経営面に関する所掌事務としては、

- ① 資金の運用管理に関する事項
- ② 決算の総括に関する事項
- ③ 債権管理の総括に関する事項

④ 経営審議会（経営に関する重要事項を審議する機関）に関する事項

⑤ 法人の経営分析の総括に関する事項

等があげられる。

#### 【点検・評価】

事務組織は、日頃の事務を適切に処理することはもちろんのこと、大学運営に精通し、その専門性を十分に発揮して、教学組織等に対して、効果的な支援を行うとともに、中長期的な視点で大学機能の向上につながる企画立案等に重要な役割を果たす必要がある。

県の人事異動によって異動するため、専門的知識を有する職員が育ちにくい状況にはあるが、大学法人内の重要な意思決定に係る諸会議には、事務職員も参画し、法制面や分析、調査事務等のバックアップを図るなど、できる限りの役割を果たすことで、大学の円滑な運営に努めている。

学内の予算要求の取りまとめに際して、事務組織は、予算編成基本方針の範囲内で、教学組織と連携を図りながら、必要な予算の確保に向け努力している。

なお、国際交流や入学試験といった専門業務においては、これらの業務に的確に対応できる人的基盤は十分とは言えない状況にある。

#### 【改善・改革に向けた方策】

大学を運営するに当たっては、教育及び研究等の大学機能を発揮し、効率的かつ効果的に経営を確保するため、適切で迅速な判断と意思決定が求められる。

このことから、事務組織は、高度な専門的知識を有する職員を育成し、広範な情報収集と精緻な分析を行い、急激な社会変化に柔軟に対応できる能力を有する必要がある。

特に、国際交流や入学試験といった専門業務においては、今後、高度かつ専門性を有する事務職員等を育成していく必要がある。

### 3 事務組織の機能強化のための取組

#### ◎主要点検・評価項目

- ・事務組織の専門性の向上と業務の効率化を図るための方途の適切性

事務組織については、現行の事務内容、事務量等を常に点検し、事務分掌、事務処理方法及び人員配置等について、大学法人の目的達成のため、いかに効率的かつ効果的な運営を行うかを検討している。

なお、平成18年度からの法人化に伴い、法人の事務職員の任用制度を制定したところであるが、新規に採用された事務職員個々の能力の向上や知識の修得を図ることで、専門性の高い事務組織の構築ができると考える。

